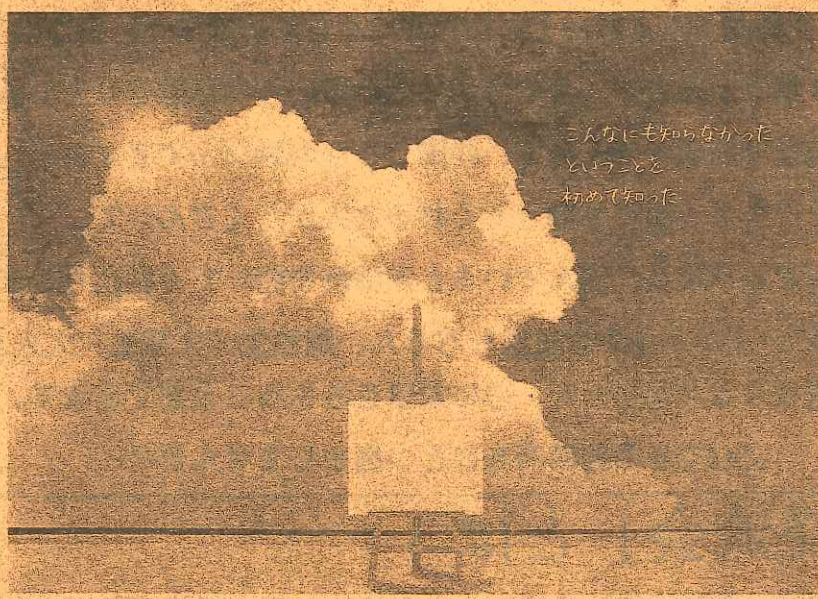


あの夏の絵

笠岡雨彦・土方志志記念
青年劇場



こんなにも知らなかった
ということを
初めて知った

「平和」について

自分自身で考えるために...

「あの夏」を描く夏

福山啓子

広島市立基町高校創造表現科の生徒による「原爆の絵」の取組みを知ったのは2014年の夏でした。高校生が描いたその絵は、被爆者が描いた絵か、と、さには思うほど迫力に満ちた「地域絵画」でした。

彼らを見守る美術の先生は「絵を描く過程で生徒が自主していく。自ら質問し、行動しなければ描けない絵だから。そして、見えるものの背後にあるものを感じながら絵を描くようになっていく」とおっしゃっていました。「話すのは苦手」と言っていた高校生は絵の完成披露会では絵を描く上での苦労やその中で得たものを自分自身の言葉で語る。こどかこさるようになる。いましました。証言者は「この子には確かに伝わった」という手ごたえを感じていらしゃるようでした。「戦争の記憶の継承」という、私達に課せられた大きな課題の、ひとつの答えを私はそこに見たように思っています。

事前交流会

3月26日(月)



本番の舞台は、
6月25日(月) 杜のホールはもと です。

～青年劇場俳優 藤井美恵子さん・前田みどりさん をお迎えして～
14:00～16:00 南東事務所 (東大沼)

～青年劇場脚本家 福山啓子さん、俳優 前田みどりさん をお迎えして～
19:00～21:00 市民会館(講習室) (相模原)

どなたでも参加できます(無料) = 申し込みあり(要予約)

お問い合わせ先など裏面もご覧下さい

おやこ劇場は「子育ての会」です

おやこ劇場を「劇団?」と思っている方がたくさんいますが、違うんです!!

劇を「観る」ことや、そのほかにもいろいろな活動をしている

地域での豊かな子育て、仲間づくりの場なんですよ♪

子どもと一緒に見守ってくれる大人がたくさんいて、

成長を喜んでくれたり、悩んでいるときは話を聞いてくれたりします。

子ども同士も小さい子から小中学生はもちろん、高校生・大学生・大人まで異年齢の大勢の人とかかわって、心に栄養をもらうことができます。

安心できる居場所をひとつ増やしませんか?

「事前交流会」とは・・・

創造団体（劇団や音楽団体）の役者さんや制作、演出の方をお迎えして、劇団の作品を作る想いに始まり、見所や、おもしろさ、大事にしてほしいところなど、ウラ話や生い立ちなどを織り交ぜながらお話していただき、例会（舞台）をより楽しく、より深く観られる様にするための会です。どなたでも参加できるので、創造団体の方たちからの想いを一緒に聴いてみませんか？

夢あふれ 楽しさいっぱい 低学年例会

3歳から小学校3年生の親子

子どもたちは様々な体験を積み重ねながら成長します。好奇心にあふれ、あそびの世界を創造するこの時期の子どもたちにとって心ゆたかな文化は欠かせません。様々なジャンルの作品を通じて、感性・情操・表現力を磨きながら、子どもたちの遊びや生活をゆたかで魅力的なものにします。

生きる力と 勇気を育む 高学年例会

小学校4年生の中学生の親子と青年・高校生優れた舞台芸術は人間を豊かにします。自我に目覚め、社会に目を向ける高学年の時期にこそ、高い芸術性にあふれた生の舞台にふれることが大切です。例会のテーマを自分に引き寄せ、自己をみかめ、仲間・社会・平和などについて考えあうなかで、子どもたちの生きる力をはぐくみます。

自主活動

親子キャンプや子どもキャンプ、楽芸会など、異年齢の仲間とつくりあう活動です。

お問い合わせ・・・

◎ 相模原中部北部 おやこ劇場

042-752-0079(淵野辺)

...各事務所または、お近くの会舎へ。

◎ 相模原南部東部 おやこ劇場

042-746-1350(東大沼)

